

# 韓国における木材産業の原木購入量と製品生産量

(1/2)

## 1. 概要

韓国山林庁は2023年12月に2022年1月1日～12月30日まで国内の木材産業における原木購入量、製品生産量などを調査した「2022年基準の木材利用実態調査報告書 (Market Survey of Timber Products)」結果を発表した。この調査結果によると、調査対象は原木を購入して製品を生産している製材所 (487カ所)、合板製造業 (3カ所)、MD製造業 (5カ所)、PB製造業 (3カ所)、床材製造業 (29カ所)、防腐木材製造業 (26カ所)、難燃木材製造業 (3カ所)、木材プラスチック複合材製造業 (21カ所)、集成材製造業 (8カ所)、木材チップ製造業 (49カ所)、木材ペレット製造業 (18カ所)、成形炭製造業 (3カ所)、炭・木酢液製造業 (43カ所)、木屑・木粉製造業 (55カ所)、シイタケ栽培業 (2,434カ所)、薪製造業 (2,117カ所)、パルプ製造業 (2カ所) などである。調査方法はすべて全数調査を実施した。

## 2. 木材産業の原木購入量

2022年に韓国の木材産業が購入 (国産材+輸入材) して利用した総木材利用量は30,800,395m<sup>3</sup>で、そのうち原木は6,575,578m<sup>3</sup> (21.3%) である。原木以外の原材料は1,509,413m<sup>3</sup> (4.9%)、輸入木材製品は22,715,404m<sup>3</sup> (73.8%) を示した。

原木購入量は6,575,578m<sup>3</sup>と前年対比4.2%減少した。木材産業別にみると難燃木材 (282.7%) が前年対比に最も大きな増加を示した。そして同対比に製材品、合板、MDF、木屑・木粉、シイタケ栽培木、薪なども少し増加を示したことに対して防腐木材、木材チップ、木材ペレット、成形炭、炭・木酢液は減少を示した。

一方、原木購入量を国産原木と輸入原木に分けてみると、2022年基準の国産原木の購入量は3,541,258m<sup>3</sup>と前年対比に7.0%減少し、輸入原木の購入量も同対比0.7%減少を示した。そして木材産業のうちPB、木質床材、木材プラスチック複合材、パルプの場合は原木を利用していない。

表-1. 原木購入量の推移

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区分	国産原木					前年対比 増加率
	2018	2019	2020	2021	2022	
合計	7,523,259	7,240,529	6,335,443	6,862,633	6,575,578	-4.2
製材品	3,326,595	3,158,990	2,888,285	3,473,590	3,527,297	1.5
合板・ボード類	1,940,072	1,615,101	1,375,498	1,386,514	1,530,251	10.4
合板	211,547	152,456	110,000	114,232	160,054	40.1
MDF	1,728,525	146,264	1,265,498	1,272,282	1,370,197	7.7
PB	-	-	-	-	-	-
木質床材	-	-	-	-	-	-
防腐木材	12,634	22,929	29,323	48,940	13,483	-72.4
難燃木材	-	-	15	15	57	282.7
木材プラスチック複合材	-	-	-	-	-	-
集成材	-	-	-	-	5,250	-
木材チップ	1,262,609	1,153,795	1,031,292	893,666	312,504	-65.0
木材ペレット	206,115	321,992	168,134	332,929	77,935	-76.6
成形炭	7,450	4,950	5,339	1,680	12,400	-26.2
炭・木酢液	87,740	81,707	83,542	56,529	46,024	-18.6
木屑・木粉	153,698	206,760	157,402	212,496	264,715	24.6
シイタケ栽培木	67,210	118,144	97,876	49,018	58,225	18.8
薪	459,136	556,161	498,737	292,136	727,437	149.0
パルプ	-	-	-	100,000	-	-

表-2. 国産原木の購入量

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区分	国産原木					前年対比 増加率
	2018	2019	2020	2021	2022	
合計	4,424,964	4,260,835	3,740,358	3,807,334	3,451,258	-7.0
製材品	576,197	569,446	542,597	573,278	691,045	20.5
合板・ボード類	1,604,368	1,365,045	1,265,498	1,272,282	1,346,564	5.8
合板	10,100	9,400	-	-	-	-
MDF	1,594,268	1,355,645	1,265,498	1,272,282	1,346,564	5.8
PB	-	-	-	-	-	-
木質床材	-	-	-	-	-	-
防腐木材	591	485	10,722	18,847	1,060	-94.4
難燃木材	-	-	-	-	27	-
木材プラスチック複合材	-	-	-	-	-	-
集成材	-	-	-	-	4,250	-
木材チップ	1,262,609	1,039,995	916,021	887,766	311,576	-64.9
木材ペレット	206,115	321,992	168,134	332,929	77,935	-76.6
成形炭	7,300	4,800	5,339	16,800	12,400	-26.2
炭・木酢液	87,740	81,707	83,542	56,529	46,024	-18.6
木屑・木粉	153,698	203,060	151,892	207,749	264,715	27.4
シイタケ栽培木	67,210	118,144	97,876	49,018	58,225	18.8
薪	459,136	55,616	498,737	292,136	727,437	149.0
パルプ	-	-	-	100,000	-	-

表-3. 輸入原木の購入量

(単位：m<sup>3</sup>、%)

区分	輸入原木					前年対比 増加率
	2018	2019	2020	2021	2022	
合計	3,098,295	2,979,694	2,595,085	3,055,299	3,034,320	-0.7
製材品	2,750,398	2,589,544	2,345,688	2,900,312	2,836,252	-2.2
合板・ボード類	335,704	250,056	110,000	114,232	183,687	60.8
合板	201,447	143,056	110,000	114,232	160,054	40.1
MDF	134,257	107,000	-	-	23,633	-
PB	-	-	-	-	-	-
木質床材	-	-	-	-	-	-
防腐木材	12,043	22,444	18,601	30,093	12,423	-58.7
難燃木材	-	-	15	15	30	100.0
木材プラスチック複合材	-	-	-	-	-	-
集成材	-	-	-	-	1,000	-
木材チップ	-	113,800	115,271	5,900	928	-84.3
木材ペレット	-	-	-	-	-	-
成形炭	-	150	150	-	-	-
炭・木酢液	-	-	-	-	-	-
木屑・木粉	-	3,700	5,510	4,747	-	-
シイタケ栽培木	-	-	-	-	-	-
薪	-	-	-	-	-	-
パルプ	-	-	-	-	-	-

木材産業の総原木購入量（2022年基準）は6,575,578m<sup>3</sup>のうち国産原木の購入量が3,541,258m<sup>3</sup>と総原木購入量の53.9%を占めている。木材産業別の国産原木の購入比率をみると、木材ペレット、成形炭、炭・木酢液、木屑・木粉、シイタケ栽培木、薪は100%である。そしてMDFは98.3%、難燃木材は47.7%、集成材は81.0%、木材チップは99.7%などを示した。

木材産業における輸入原木の購入量（2022年基準）は3,034,320m<sup>3</sup>と総原木購入量の46.1%を占めている。木材産業別の輸入原木の購入比率をみると、合板が100%、防腐木材が92.1%、製材品が80.4%、難燃木材が52.3%、集成材が19.9%、MDFが1.7%、木材チップが0.3%などで付加価値が高い製材品や合板は依然として輸入原木に依存している。

表-4. 国産原木と輸入原木の購入量（2022年基準）

（単位：m<sup>3</sup>、％）

区分	合計	国産原木	輸入原木	国産原木の 購入比率
合計	6,575,578	3,541,258	3,034,320	53.9
製材品	3,527,297	691,045	2,836,252	19.6
合板・ボード類	1,530,251	1,346,564	183,687	88.0
合板	160,054	-	160,054	-
MDF	1,370,197	1,346,564	23,633	98.3
PB	-	-	-	-
木質床材	-	-	-	-
防腐木材	13,483	1,060	12,423	7.9
難燃木材	57	27	30	47.7
木材プラスチック複合材	-	-	-	-
集成材	5,250	4,250	1,000	81.0
木材チップ	312,504	311,576	928	99.7
木材ペレット	77,935	77,935	-	100.0
成形炭	12,400	12,400	-	100.0
炭・木酢液	46,024	46,024	-	100.0
木屑・木粉	264,715	264,715	-	100.0
シイタケ栽培木	58,225	58,225	-	100.0
薪	727,437	727,437	-	100.0
パルプ	-	-	-	-

総原木購入量（2022年基準6,575,578m<sup>3</sup>）を針葉樹と広葉樹に分けてみると、針葉樹の購入量は4,934,190m<sup>3</sup>（75.0％）、広葉樹は1,641,388m<sup>3</sup>（25.0％）である。国産針葉樹の購入量は総2,086,794m<sup>3</sup>で、そのうちMDFが958,787m<sup>3</sup>と最も多く、次いで製材品が666,129m<sup>3</sup>、木屑・木粉が264,715m<sup>3</sup>、木材チップが121,568m<sup>3</sup>などの順を示した。国産広葉樹の購入量は1,454,464m<sup>3</sup>で、そのうち薪が727,437m<sup>3</sup>と最も多く、次いでMDFが387,777m<sup>3</sup>、木材チップが190,008m<sup>3</sup>、シイタケ栽培木が58,225m<sup>3</sup>、炭・木酢液が45,245m<sup>3</sup>などの順を示した。これに対して輸入針葉樹（2,847,395m<sup>3</sup>）と輸入広葉樹（186,925m<sup>3</sup>）の購入量は各々製材品が最も多い量を示している。

表-5. 針葉樹と広葉樹の購入量（2022年基準）

（単位：m<sup>3</sup>）

区分	国産原木			輸入原木		
	合計	針葉樹	広葉樹	合計	針葉樹	広葉樹
合計	3,541,258	2,086,794	1,454,464	3,034,320	2,847,395	186,925
製材品	691,045	666,129	24,916	2,836,252	2,734,381	101,871
合板・ボード類	1,346,564	958,757	387,777	183,687	98,633	85,054
合板	-	-	-	160,054	75,000	85,054
MDF	1,346,564	958,787	387,777	23,633	23,633	-
PB	-	-	-	-	-	-
木質床材	-	-	-	-	-	-
防腐木材	1,060	1,060	-	12,423	12,423	-
難燃木材	27	27	-	30	30	-
木材プラスチック複合材	-	-	-	-	-	-
集成材	4,250	3,050	1,200	1,000	1,000	-
木材チップ	311,579	121,568	190,008	928	928	-
木材ペレット	77,935	76,599	1,336	-	-	-
成形炭	12,400	6,200	6,200	-	-	-
炭・木酢液	46,024	779	45,245	-	-	-
木屑・木粉	264,715	252,715	12,120	-	-	-
シイタケ栽培木	58,225	-	58,225	-	-	-
薪	727,437	-	72,7437	-	-	-
パルプ	-	-	-	-	-	-